

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年7月25日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	26週	27週	28週	29週	警報レベル		注意レベル
	6月24日～6月30日	7月1日～7月7日	7月8日～7月14日	7月15日～7月21日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	1	1	0	30	10	10
	—	0.33	0.33	—			
新型コロナウイルス感染症#	16	14	36	28	-	-	-
	5.33	4.67	12.00	9.33			
RSウイルス感染症	4	1	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	3	3	8	4	-
感染性胃腸炎	8	0	2	0	20	12	-
水痘	0	0	1	1	2	1	1
手足口病	1	5	5	9	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	1	0	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	1	0	4	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	◎	-
備考	呼吸器感染症	新型コロナウイルス感染症	

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 栗原支所より

### 【 定点把握対象疾患 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症は微減しました。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は横ばいです。
- ・ 手足口病は増加しました。大崎管内(大崎圏域+栗原圏域)としては警報レベルを超えています。

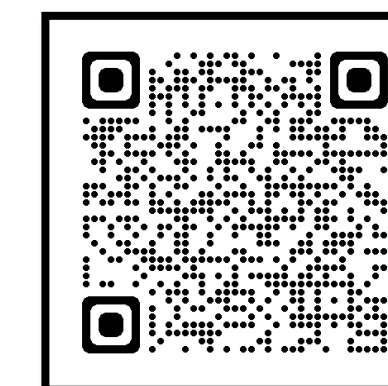
### 【 集団発生情報 】

高齢者施設2か所から、新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

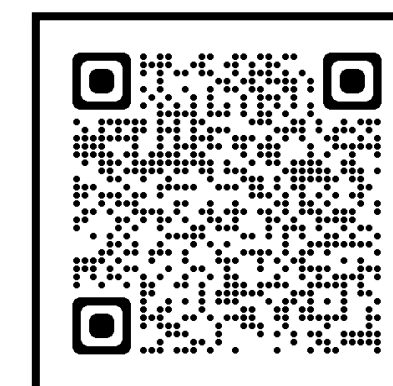
### 【 感染症コラム 】

#### ～新型コロナウイルス感染症(COVID-19)～

- ・ 飛沫(患者の咳やくしゃみ等)・エアロゾル(飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸い込む)感染による呼吸器感染症です。
- ・ 潜伏期間は1～7日間(中央値2～3日)といわれていますが、変異株ごとに特徴が異なります。
- ・ 発症前から感染性があり、発症から間もない時期の感染性が高いため、感染が拡大しやすくなっています。
- ・ 症状は、発熱、呼吸器症状、倦怠感、頭痛、消化器症状、鼻汁、筋・関節痛など多様です。
- ・ 現在流行しているKP.3株はオミクロン株の派生型で、重症度には変化はないとされていますが、免疫逃避の能力が高く感染力が強いといわれています。ここ1か月間の宮城県内でもKP.3系統の株が多く検出されています。
- ・ 全国的にも県内においても定点あたりの新規患者報告数は増加しています。
- ・ 手洗いや換気、場面に応じたマスクの着用などの感染対策を行いましょう。また、換気やマスクの着用は熱中症予防との両立が必要です。



感染症情報 ←



← 感染症検査

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594  
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>